

総務文教常任委員会資料

平成30年1月25日

加東市教育委員会生涯学習課

指定管理者モニタリング報告書並びにチェックシート【抜粋】

施設名：加東市東条文化会館

サービスの質に関するチェックシート

(チェックシート②)

②実地確認による評価 (※四半期毎のモニタリング時などに確認)

項目	必須	基準	評価	評価に対する説明等
運営業務	○	利用者の意見・要望を施設の管理運営に反映させ、サービス向上に努めているか	○	アンケートの活用
		利用者ニーズに即した事業内容となるようサービス向上に努めているか	○	アンケートの活用
	○	利用者数や稼働率等を高める取り組みが行われているか	○	前年度より稼働率は増加している
		利用案内や広報活動に工夫・改善が行われているか	○	情報誌の発行
		開館時間・休館日、施設利用手続き(例：予約方法や利用区分)等で、サービス向上への取り組みが行われているか	未実施	
		市民参加・市民協働への取り組みを行い、公の施設の効用を發揮しているか	○	ボランティアの活用
		地域・関係機関等との連携	○	社吹奏楽団との連携
	○	苦情や緊急事態発生時の対応(準備)の内容は適切に行われているか	○	適切に実施
	○	職員の資質や能力向上を図る研修等の取り組みが行われているか	○	研修の実施

維持管理業務	○	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか(点検によって異常が認められる場合は、速やかに対応(市に報告、修繕等)を行っているか)	○	市へ随時報告
		指定管理者の責任区分の範囲内で、適切な修繕等が行われているか	-	指定管理者の責任区分内では修繕なし
		快適に利用できる環境となっているか	○	快適に利用可能
	○	利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか(点検によって異常が認められる場合は、速やかに対応(市に報告、修繕等)を行っているか)	○	市へ随時報告
		指定管理者の責任区分の範囲内で、適切な修繕等が行われているか	-	指定管理者の責任区分内では修繕なし
	○	トイレトーパー、消毒用品、手洗い用石鹸は常に補給されているか	○	補給済み確認
		全体的(駐車場を含む)に、清潔に保たれているか	○	全体的に清潔
	○	避難経路に障害物はないか	○	障害物なし
		利用者の安全確保に係る訓練や研修等を実施しているか	×	平成29年度は実施
	○	機能・美観が良好な状態に保たれ、利用者が安全に利用することができるか	○	安全に利用可能
利用に支障をきたすような状況のまま放置されていないか(点検によって異常が認められる場合は、速やかに対応(市に報告、修繕等)を行っているか)		○	市へ随時報告	
	指定管理者の責任区分の範囲内で、適切な修繕等が行われているか	-	指定管理者の責任区分内では修繕なし	

		樹木・花壇は良好に管理されているか	○	良好な管理
		草刈や除草はされているか	○	除草済み確認
	環境への配慮	環境改善活動に資する取り組みを行っているか	未実施	

- ・「評価」欄には、「○ △ ×」で記入することとし、必須項目に該当しないものについては、未実施の場合は「未実施」と記入する。
- ・効果的な取り組みである場合は「○」、取り組み内容に課題がある場合は「△」とするほか、「評価に対する説明等」欄を有効的に活用して、評価を行う。
- ・上記項目は、指定管理者の業務内容に応じて、適宜、変更すること。

③提案事業の評価

項目	実施計画 (事業計画)	実施内容 (事業報告)	評価	評価に対する説明等 (目標達成度など)
日本木管コンクール	フルート部門、全5日	108人出場(欠席者除く) 延べ700人来場	△	前回、前々回より出場者が減っている。

- ・「評価」欄には、「○ △ ×」で記入する。
- ・効果的な取り組みである場合は「○」、取り組み内容に課題がある場合は「△」とするほか、「評価に対する説明等」欄を有効的に活用して、評価を行う。

④自主事業の評価

項目	実施計画 (事業計画)	実施内容 (事業報告)	コメント (サービス向上への効果等)
サロンDE名曲との出会い	名曲鑑賞と解説の講座	42人の来場	加東市に今まで来られたことのない、演者を招き、開催した事業が存在する点は評価できる。一方で、それらの新たな自主事業がどれほど加東市の学術文化の振興に貢献しているのか、また、採算は見合っているのかという観点は今後もよく検討していただきたい。
サロンDEマリンバ演奏会	マリンバ演奏会	240人の来場	
サロンDE腹話術	やないあつ子氏腹話術公演	203人の来場	
こすみつく亭落語会	林家小染ほか3名の落語会	95人の来場	
コスミック納涼祭	ブラスコンサート	延べ722人の来場	
野菜がクラリネット??	十亀正司氏コンサート	174人の来場	
アンサンブル・リリ	フルート演奏会	312人の来場	
テアトルコスミック	映画の上映、全2回	計564人の来場	
田尻洋一の「新世界」	ピアノリサイタル	204人の来場	
ハロウィンパーティ	英語サークル英語劇	202人の来場	
里奈&秋田慎治カルテット	ジャズポップスナイト	275人の来場	
クリスマス会	ヴァイオリンとピアノ	117人の来場	
CD鑑賞会	名盤鑑賞会	35人の来場	
篠崎史紀リサイタル	ヴァイオリン公演	410人の来場	
日本センチュリー交響楽団	東条文化会館初公演	412人の来場	
PACオーケストラ	芸術文化センター管弦楽団	406人の来場	
フルート教室	初めてのフルート教室	20人の参加	

①収支の状況

項目		予算額 (事業計画)	決算額 (事業報告)	適否等検証 (計画・目的達成度など)
収入	指定管理料	15,000千円	15,000千円	
	利用料金	3,000千円	3,148千円	148千円収入増
	事業収入	10,396千円	9,579千円	817千円収入減
	その他収入	2,530千円	25,271千円	22,741千円収入増
	収入計(a)	30,926千円	52,998千円	22,072千円収入増
支出	人件費	3,274千円	8,499千円	5,225千円支出増
	施設維持管理費	0円	0円	
	事業費	26,914千円	27,018千円	104千円支出増
	その他 (公租公課など)	738千円	99千円	639千円支出減
	支出計(b)	30,926千円	35,616千円	4,690千円支出増
収支	(a) - (b)	0円	17,382千円	

②収支の評価

項目	基準	評価	評価に対する説明等
指定管理業務の 収支	指定管理料等の範囲内（収支計画に沿った内容） で運営が行われているか	△	人件費が増加し、計画に甘い部分 があった。決算では寄附金収入に より、カバーされている。
	収入増加のための取り組みがなされているか	○	寄附金等獲得のための努力を行 い、大きな成果をあげている。今 後は利用料金や事業収入増加のた めの取り組みに期待する。
	管理経費の縮減に関する取り組みがなされてい るか	○	支出が予算より増加してはいるも の、ボランティアを利用すること で、人件費の抑制に尽力されて いる。
	効率的・効果的な運営が行われているか	○	

- ・「評価」欄には、「○ △ ×」で記入する。
- ・効果的な取り組みである場合は「○」、取り組み内容に課題がある場合は「△」とするほか、「評価に対する説明等」欄を有効的に活用して、評価を行う。
- ・上記項目は、指定管理者の業務内容に応じて、適宜、変更すること。

平成28年度 指定管理者モニタリング報告書

施設名	加東市東条文化会館
施設所在地	加東市天神66番地
指定管理者	<p>名称 株式会社五洋産業・特定非営利活動法人新しい風かとう</p> <p>代表者 土肥富幸</p> <p>住所 加東市天神66番地（代表団体の住所）</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握した。</p> <p>次のとおり、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、モニタリングの「総合コメント」及び「今後の改善に向けた考え方」を記載した。</p>
担当課	加東市教育委員会生涯学習課 Tel0795-43-0545

1 総合コメント

協定書等の基準を遵守し、これに沿った運営がなされている。課題となるのは、初年度であることの許容を除けば、文化ホールの稼働率や利用者数が低い点があげられる。前年度までは（公財）加東文化振興財団が管理する3つの文化会館の内の1つという位置づけであり、利用者が3館に分散していたため、3館のホールとも稼働率や利用者数が低かった。今年度は、新しい指定管理者が単独で管理しているという強みから、前年度より改善は見られたものの、全国の他のホールと比較すれば、まだまだ稼働率や利用者数は平均を下回っている。

2 今後の改善に向けた考え方

篠山市の「たんば田園交響ホール」をはじめ、加古川市の「アラベスクホール」、また、神戸市、尼崎市でも音響に優れたホールを持ち、本市の周辺には有数の音響を誇るホールが多く存在する。そのようななか、当館としては、広く住民に喜ばれ、足を運びやすい自主事業を行っていくことが、文化ホールの利用状況の改善につながると思われる。

3 業務の履行状況について

初年度から指定管理者が行う必要のある事業・業務はおおむね達成できている。最大の課題であるホールの利用状況について、当ホールの稼働率は28.0%（前年度23.7%より増加）で、年間入場者数は11,604人（前年度15,729人より減少）であり、両者とも大きく（公社）公立文化施設協会の調査の平均を下回っている。

【参考】（公社）公立文化施設協会の調査（平成27年度実績）

全国平均稼働率	53.3%
10万人未満の市の平均稼働率	45.6%
町村等の平均稼働率	40.6%
年間入場者数の全国平均	61,195人
10万人未満の市平均	34,345人
町村等の平均	20,197人

4 サービスの質について

利用者アンケート調査結果の確認及び実地確認調査を行ったところ、イベントの内容、料金設定等への満足が確認され、施設管理も適切に行われており、清潔で、サービスの質は高いと言える。

なお、提案事業である日本木管コンクールの出場者数が前回、前々回より減少していることが注目されるが、今年度の経験を踏まえて来年度に活かすことで、参加者の増加に繋げる努力が必要である。今後の出場者数の増減については引き続き注視する必要がある。

5 収支状況等について

寄附金等の獲得に向けた努力により、17,382千円の黒字となっているが、毎年継続して多額の寄附金収入を期待することは難しいと予想される。今後は利用料金や事業収入で黒字にする取り組みを期待したい。

また、ボランティアを活用し人件費を抑えることで、経営努力がなされていることは評価できる。しかし、決算報告書では人件費が増加しており、収支計画の甘さが見受けられた。初年度のことであり、計画の見通しが立たなかった部分があったと思われるが、今後これを踏まえて綿密な収支計画を作成されたい。